

度録
月研抄
10生

歯科医療機関における

医療安全対策

佐久間泰司(大阪歯科大学歯科麻酔学講座准教授)

平成19年4月から医療安全制度が歯科診療所にも義務付けられた。今回の講演は、2つの観点から医療安全について説明したいと思う。

1 何が義務付けられたか

医療事故やミスは不可抗力で起こるのではなく、業務システムの改善等により予防可能であると考えられている。厚生労働省は医療機関における安全対策として、①各医療機関での「安全管理のための指針」の作成②医療事故等の院内報告制度の創設③「安全管理のための委員会」の開催④安全管理の体制確保のための職員研修の実施の4項目を挙げ、その対策を取ることを義務付けている。この概要につ

2 苦情対応の実務

最近、患者からの苦情が増えている。厚生労働省は患者とのコミュニケーション促進を医療安全の課題のひとつとしており、苦情対応は医療安全の重要なスキルである。患者とのトラブルが起ると、患者はよく「何が起ったのか十分に説明して貰っていない」と言う。逆に言うと、よく説明するだけで解決する事例が多いといえる。早期対応が大切である。

3 感情の主張

感情の表現。「怒り」として表現される。対話促進の基本は、相手の主張を、①事実の主張、②要求の主張、③感情の主張にわけ、最初に感情の主張に対してきちんと対応することである。苦情を申し立てる人は、事実を知ってもらいたいとか、要求を呑んで欲しい、という願望が優先しているのではない。

②要求の主張

要求についての主張。こうして欲しい、こうすべきだ、こうしてはいいない、という形で表現される。

③感情の主張

感情の表現。「怒り」として表現される。対話促進の基本は、相手の主張を、①事実の主張、②要求の主張、③感情の主張にわけ、最初に感情の主張に対してきちんと対応することである。苦情を申し立てる人は、事実を知ってもらいたいとか、要求を呑んで欲しい、という願望が優先しているのではない。

感情を受け止めること

感情を受け止めることにより、患者に「先生は私の苦痛を理解してくれて」と信頼感が生まれ、その後の対話が始められる。ところが多くの歯科医師は、「入れ歯が噛めないのはこういう理由です」という治療をします。この段階ではいくら説明しても対話は出来な

感情を受け止めること

感情を受け止めることにより、患者に「先生は私の苦痛を理解してくれて」と信頼感が生まれ、その後の対話が始められる。ところが多くの歯科医師は、「入れ歯が噛めないのはこういう理由です」という治療をします。この段階ではいくら説明しても対話は出来な

核廃絶へ 行動訴える

第21回 反核医師・医学者のつどい



参加者の一人、奈良市医師会代表のラフ氏

NPT再検討会議以後の核兵器廃絶とアジアの平和の展望を考慮するため9月18日、19日、「第21回核戦争に反対し核兵器の廃絶を求める医師・医学者のつどい」が奈良で開催された。主催は同実行委員会と「核戦争に反対する医師の会」。

器の廃絶を求める医師・医学者のつどい」が奈良で開催された。主催は同実行委員会と「核戦争に反対する医師の会」。

師として、核廃絶にむけ行動してほしい、と訴えた。ラフ氏は日本政府の核抑止論に固執する姿勢を批判。さらに日本やオーストラリアの両国に対し、①志を同じくする国との交渉②アメリカとの同盟の見直し③ウランの採掘規制④原子力エネルギーに代わる持続可能なエネルギーの活用⑤使用済み核燃料の再処理をやめる

の5項目の政策を提案した。このほか、富田宏治氏(関西学院大学教授)、川崎哲氏(NGOピースボート代表)、片岡勝子氏(JPPNW事務局長)によるシンポジウムや佐々木梅治氏による読み語りが行われ、NPT再検討会議後の展望や核抑止論の一掃などをめぐり、2015年までの核兵器禁止条約の締結にむけ

参加者の一人、奈良市医師会代表のラフ氏

器の廃絶を求める医師・医学者のつどい」が奈良で開催された。主催は同実行委員会と「核戦争に反対する医師の会」。

の5項目の政策を提案した。このほか、富田宏治氏(関西学院大学教授)、川崎哲氏(NGOピースボート代表)、片岡勝子氏(JPPNW事務局長)によるシンポジウムや佐々木梅治氏による読み語りが行われ、NPT再検討会議後の展望や核抑止論の一掃などをめぐり、2015年までの核兵器禁止条約の締結にむけ

歯科での病診連携 透析等の具体的症例で解説

大阪市南部地区



安全、安心な歯科治療を実施する美馬孝至氏

大阪市南部地区はNTT西日本大阪病院歯科口腔外科部長の美馬孝至氏を講師に、地区講習会「日常歯科診療における病診連携」講習会をM&Dホールで9月4日に開き、44人が参加した。美馬氏は、現在の日常診療ではより的確な医療との情報交換が求められるとして、我われ歯科医師の論理武装の重要性を指摘し、①当世歯科事情

・変遷(病院歯科の立場から)②歯科治療の特殊性③抗血栓療法中の患者の歯科治療④ビスフォスフォネート(BP)製剤内服患者の歯科治療⑤糖尿病患者の歯科治療⑥腎透析患者の歯科治療の6つの項目について具体的症例を示しながら解説した。

また、同氏は医療法の改正の方向が院内感染への対策強化に向かっていると述べ、標準予防策(スタンダード・プリコーション)の必要性を強調したうえで、各項目で安全で安心な歯科治療を実施するポイントを解説した。

また、糖尿病・BP剤・抗血栓薬等の項目では、抗血栓薬の性状や、血糖をコントロールする際の指標となる「数値」や各カイドラインについても解説があり、我われの日常臨床に大いに役立つものであった。(西成区・梁川喜舞)

第10回三団体 親睦ゴルフコンペのご案内

日時 11月23日(火・祝)午前8時集合
場所 ゴルフクラブ四條畷(四條畷市下田原2-2-20)
費用 プレフィー 1万8千円
コンペ参加費 5千円
※お問い合わせは歯科協協会事務局まで

た交渉の開始を目指して運動と世論を盛り上げようとのアピールが採択された。2日間で医師・歯科医師・学生ら388人が参加した。

た交渉の開始を目指して運動と世論を盛り上げようとのアピールが採択された。2日間で医師・歯科医師・学生ら388人が参加した。

た交渉の開始を目指して運動と世論を盛り上げようとのアピールが採択された。2日間で医師・歯科医師・学生ら388人が参加した。

世界で活かせる憲法9条

九条の思想が導くもの、日本の役割

おおさか医科・歯科九条の会・秋の講演会
日時 10月31日(日)午後1時~4時
会場 保険医会館5階
講師 小森陽一氏(東京大学教授・「九条の会」事務局長)
※参加費無料。お問い合わせは歯科協協会事務局まで。

協会行事案内

お申し込みは 電話 06-6568-7731
ファクス 06-6568-0564

「個別指導対策と日常のカルテの書き方注意点」
日時 10月9日(土)午後5時~7時
会場 マイドームおおさか8階会議室
講師 社保研究部講師団
会費 会員無料 定員 60人
「カルテ記載を中心とした指導対策テキスト」2010年8月版をご持参ください

勤務医対象「新規開業セミナー」(医科・歯科共催)
日時 10月10日(日)午前10時~午後1時
会場 マイドームおおさか8階会議室
講師 田中徳一氏(株)日本医業総研、湧嶋慎一氏(税理士法人関西合同事務所)
会費 会員無料 定員 60人
開業地選定・資金調達の方など
※講師らによる個別相談をご希望の方は申し込み時にその旨をお伝えください。

「ベテラン弁護士がみた 雇用をめぐるトラブルとヒヤリハット事例」
日時 10月23日(土)午後2時30分~5時
会場 M&Dホール 定員 120人
講師 高原安三郎氏(弁護士)
会費 会員3千円、未入会者1万円

大阪市東部地区主催・大阪市北部地区共催
「抜髄症例を無菌にする!?」—チェア—サイド
嫌気培養システム—
日時 10月24日(日)午前10時~午後1時
会場 保険医会館 定員 50人
講師 小川敏氏(都島区開業)
会費 会員無料、未入会者1万円

大阪市西部地区主催
「歯科医事紛争の傾向と対策—リーマーからインプラント紛争まで」
日時 10月24日(日)午前10時~午後1時
会場 M&Dホール 定員 100人
講師 福西啓八氏(西区開業)
会費 会員無料、未入会者1万円

レセプト電子請求(オンライン請求)の適用除外手続き説明会
日時 10月24日(日)午後1時30分~3時
会場 M&Dホール 定員 100人
講師 社保研究部講師団
会費 会員無料、未入会者1万円
※明細書発行義務化免除の手続きについても解説します

未入会者とは、会員院所に勤める勤務医未入会者です
※協会行事などを本紙等で報道・紹介するため、講習会などの写真で個人が特定されることがありますが、趣旨をご理解の上、ご了承ください。また、講習会でのビデオ撮影や録音はお断りします。

講習会へ参加ご希望の方は、必ず事前に協会までお申し込み下さい。